Noile-Immune Biotech

各位

No.26021

2026 年 11 月 18 日

ノイルイミューン・バイオテック株式会社

https://www.noile-immune.com

# 短期間での製造を可能にする「Swift PRIME CAR-T」の研究成果を日本免疫学会学術集会で発表

## ～次世代 CAR-T 細胞療法の開発に向けた新たな研究成果を報告～

ノイルイミューン・バイオテック株式会社（以下、当社）は、2026 年 11 月 17 日（火）から 19 日（木）にグランキューブ大阪で開催されている第 55 回日本免疫学会学術集会において、当社が山口大学大学院医学系研究科免疫学と共同で研究開発を進めている、PRIME CAR-T 細胞を従来の製造方法よりも短期間で製造する独自技術「Swift PRIME CAR-T」に関する研究成果がポスター発表されましたのでお知らせいたします。

＜発表概要＞

■ 会議名称：第 55 回日本免疫学会学術集会

■ 公式サイト：https://www2.aeplan.co.jp/jsi2026/

■ 会期：2026 年 11 月 17 日（火）～19 日（木）

■ 会場：グランキューブ大阪（大阪府大阪市北区中之島 5 丁目 3-51）

■ 発表日：2026 年 11 月 17 日（火）

■ タイトル：IL-7/CCL19 発現 CAR-T 細胞の短期製造による膠芽腫モデルにおける抗腫瘍効果の増強

■ 発表者名：白石仁[1,2]、佐古田幸美[1,3]、鈴木有十夢[1]、島袋太一[1]、濵﨑太郎[1]、城崎幸介[1]、安達圭志[1,3]、水上洋一[4]、吉住朋晴[2]、玉田耕治[1,3]

1 山口大学大学院医学系研究科 免疫学講座

2 九州大学大学院　消化器・総合外科

3 山口大学細胞デザイン医科学研究所

4 山口大学 大学研究推進機構 遺伝子実験施設

■ 発表内容の概要：

CAR-T 細胞療法は血液がんに対して高い治療効果を示す一方、膠芽腫をはじめとする固形がんに対してはその効果が限定的です。本研究では、IL-7 と CCL19 を共発現する CAR-T 細胞を短期間で製造する技術を用いた「Swift 7×19 CAR-T」の膠芽腫に対する有効性を検討しました。Swift 7×19 CAR-T 細胞は幹細胞様の性質を維持するとともに、持続的な抗腫瘍活性を示しました。さらに、膠芽腫同所性移植マウスモデルにおいて、優れた腫瘍増殖抑制効果と生存期間の延長が確認されました。これらの結果から、Swift 7×19 CAR-T 細胞療法は膠芽腫に対する新たな治療戦略となる可能性が示されました。

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】
〒105-0012　東京都港区芝大門 2-12-10 T&G 浜松町ビル 5 階
ノイルイミューン・バイオテック株式会社
pr@noile-immune.com